

あなたの知らない堺の物語

開催日時：8 月 3 日（日） 10 時～12 時

場所：堺市総合福祉会館 5 階 大研修室 参加費：無料

政令指定都市堺には、古墳群・環濠都市だけではない歴史・文化の物語が数多くあります。あなたの知らない堺の物語を、堺観光ボランティアガイドがご紹介いたします。今回は二つの物語をご紹介し、その現地を巡るツアーガイドの先行受付もいたします。

第 1 部 『神の降りた郷 上神谷（にわだに）の棚田』

堺の母なる川は、江戸時代に堺を通るようになった大和川ではなく、石津川であったということをご存じでしょうか？ その石津川の源流は、天照大神が大鳥となって舞い降りた神の郷で、天竺から渡来した法道仙人が開いた古刹も残る神仙の郷です。平家の嫡流である豪族上神氏（にわし）が築いた鼎城（かなえじょう）の古城跡や、堺で唯一の国宝が残る神社もあります。かつて堺の酒造りの基であった「上神谷米」の産地でもあり、今も美しい棚田が残る美田では、酒米造りが復活し、堺産の無農薬・科学肥料を使わない山田錦で造られた日本酒もたのしめるようになりました

第 2 部 『戦争を終わらせた宰相 鈴木貫太郎と堺』

戦争は始めるより終わらせることが難しいということを、今私たちは実感しています。誰もが平和を願っているのに終わらせられないのが戦争という化け物です。今年は 80 回目の終戦記念日を迎えますが、太平洋戦争を終結に導いた宰相鈴木貫太郎が生誕したのは、堺だったということをご存じでしょうか？ 幕末から明治への過渡期、千葉の関宿藩（せきやどはん）飛び地の代官の息子として生まれた貫太郎は幼くして千葉に移りますが、故郷の堺と鈴木貫太郎との間には強い絆がありました。二・二六事件で貫太郎を護った産土神の神社、貫太郎の「福生積善」の精神を受継ぎ、社会福祉法人認可第 1 号となった江戸時代の大庄屋邸、関宿藩の菩提寺であった黄檗宗の古刹には、大隋求菩薩（だいずいくぼさつ）という希少な菩薩像が祀られています。

詳細は裏面参照ください。